

## 「ダヴィンチ」使用、腎臓がん手術でも保険適用

医師が遠隔操作する手術支援ロボット「ダヴィンチ」を使った腎臓がんの手術に今春から保険の適用が可能になり、ダヴィンチを導入している県立医大（和歌山市）でも保険適用手術が始まった。5月以降、すでに数件実施しており、今後は年間20〜30件のペースで実施する想定という。

ダヴィンチは、開腹手術に比べて体への負担が少ないとされる「腹腔鏡手術」を医師の遠隔操作によって行うロボット。手術器具や内視鏡カメラを取り付けたロボットアームを体内に挿入し、医師は3D画像を確認しながら、アームを操

### 県立医大で実施

縦する。アームは人間の手では困難な動きが可能で、患部をカメラで拡大しながら手術をすることができると話した。

同大でも、平成24年にダヴィンチを導入。同年に保険適用された前立腺がんの摘出手術などで使用してきた。今回、腎臓がんの手術でもダヴィンチを使用することができるようになり、人の手では出血のコントロールが難しく、高度な技術を要した手術もより安全に行うことが可能になるという。

同大泌尿器科の原勲教授は「保険適用ができるため、患者さんも手術を受けやすくなる」と話した。